

## 内閣総理大臣賞（最優秀賞）

### 水がつなぐ自然と家族

富山県 高岡市立五位中学校 三年 前田 野乃葉

「うわあ、こんな景色見たことないよ。」

思わず口からこぼれた言葉。私がまだ五歳の時のことだった。八時迄には寝ていた私が、少し遅くまで起きていられるようになった夏の夜、祖父が家から車で三分ほどの川べりに連れていってくれた。そこで目にしたのは、漆黒の空に飛び交う彗星のような光と、繰り返す光の点滅がまるで季節外れの天然のクリスマスツリーのように見える山の木々だった。その日見た自然の幻想的で美しい光景を超える光景に、私はまだ出会っていない。そして、その夜聞いた祖父の言葉も忘れ難いものとして、私の心に鮮明に残っている。

「螢は水のきれいな所にしか住めん。螢のおるこの景色、野乃葉に見せて良かった。絶対に見せてやりたかったんやあ。」

私の住む石堤地区は、東は小矢部川、西は西山丘陵に囲まれて、螢の大群以外にも様々な鳥や生き物をみかけることができる自然豊かな地域であり、この地区で獲れるお米は『川西の米』と呼ばれ、小矢部川の豊かな水流と粘土質の土壌のおかげで粘り気が強くて甘味があり、冷めても美味しいと評判だ。私の祖父も兼業農家なので、田植えは家族親戚一同総出の一大行事である。田植えが終わると夕方田んぼの水量を見回る必要があり、祖父は必ず私を誘った。私はその仕事を『水パトロール隊』と名付け、隊員として一生懸命任務履行した。任務中、祖父は昔の小矢部川は汚濁していて、かんがいや排水の欠陥も多かった為に水稲の腐敗や枯死などの被害があったこと、干ばつが起ると田面の亀裂、茎葉の萎縮が起き、収穫が下がり農家の経営が不安定で大変だったこと、用水を守り田園を保つことが、水辺の環境整備につながり、様々な生き物や植物の生育を育み、しいては自然豊かな景観の保全へとつながることを、分かりやすく話して聞かせてくれた。私は用水路が整備され、安定した水の恵みで美味しいお米がた

くさんとれることのありがたみを感じると共に、自然保護の重要な役割の一端を担う農業に携わっている祖父を誇らしく思った。水量確認だけでなく、道中のゴミ拾いも任務の一つだった。私は自分にもできる事があることが嬉しくて仕事に励んだ。

小四の夏休みには、五位庄地区開催の「フィルムで残す農業用水と暮らし」の活動に参加した。社会科の授業で用水の歴史を学び、自分もこの景色を後世に残す手伝いがしたいと思ったからだ。

地域のこのような活動以外にも、富山県には「クリーンウォーター計画」なるものがあり、そのおかげで汚濁していた小矢部川も今では美しい川となっている。富山県は名水百選のうち、全国最多の八ヶ所が選定されているが、それは与えられた環境によるものだけでなく、「清らかな水をより清らかにしようとする努力」、「豊かな自然環境は県民の財産」との考えを広める活発な活動」、「水の大切さを伝える家族のつながり」がもたらした結果だと思う。

我が家では、食器は洗剤不要なアクリルたわしで洗う、シャワーは節水など、些細なことだが、当たり前のように家族全員が行っている。水は自然がもたらす恵みで、あらゆる生命の源になるもの。その循環型資源の水を人間は汚さないように、ありがたみをもって使うこと、水の大切さを意識した行動をとらなければいけないことを、私は、家族を通して学んだ。水を守ることは、次の世代のことを思いやること、そしてその『思い』をつなげていくことに他ならないと私は思う。

あの夏の夜、祖父が私にプレゼントしてくれた景色を、今度私が自分の子供や孫にプレゼントするその日まで、私はこれからも日々『水』のもたらす恵みに感謝しながら、この豊かな自然に囲まれた素晴らしい水環境を守る努力をしていきたい。